

職員に「視察研修派遣事業」を

小池 信一郎 議員（自民）

町長 必要性を随時判断して実施したい



質問 これからの自治体は、自らの創意工夫によって個性豊かなまちづくりを進めなければ、10年後には自治体間に相当の格差がつくと思われる。行政主導でなく、民間団体や住民が協力してまちづくりに取り組んでいる事例を見ることは、職員の視点を転換させることになり、新たな発想が生まれる。そこで、将来を担う若手職員を対象に「視察研修派遣



職員研修(町民会館ホール)

事業」を始めたらどうか。町の活性化と発展に効果的である事業と考えるが、町長の所見を伺う。
町長 町では、これまでも職員研修所における研修のほか、町独自の研修を進めてきた。17年からは、必要に応じて職員のプロジェクトチームの視察研修も実施できるよう予算化している。また、部制移行を好機と捉え、職員自らがまちづくりの課題を提起できるように、部内研修の実施を指示した。視察研修派遣事業については、必要性を随時判断して実施したい。

財政力を活かし、住民サービス向上を

原 成兆 議員（自民）

町長 住民要望に対しては

必要性を見極めたい



質問 町は、各地域によって生活環境が異なり、課題・要望も様々である。財政力を活かし、住みよい町づくりを目指すべきである。そこで次の点につき町長の所見を伺う。
問① 東京都における財政力の順位は。



決算統計作業中の財政係職員

町長 18年度決算において、財政力指数は1.090で都内市町村中10位。経常収支比率は82.2で2位。
問② 町長が目指す町づくりと住民サービスの優先順位は。

町長 18年度決算において、財政力指数は1.090で都内市町村中10位。経常収支比率は82.2で2位。
問④ 財政健全化法への対応とさらなる財政力向上のための施策は。
町長 土地区画整理事業や優良企業誘致を進め、地域経済を活性化して財政基盤の充実を図りたい。

人材活用事業で子どもと向き合う時間確保を

青山 晋 議員（公明）

教育長 外部の人材も活用する



質問 文部科学省は、教育環境を改善し、教師が子どもと向き合う時間を確保するため、教職員を増員するとともに、7000人の非

常勤講師を配置する計画である。外部人材の活用を推進するため「退職教員等外部人材活用事業」がスタートする。教師が子どもと向き合

と英語科の教員がそれぞれ加配されている。
問② 小学校高学年における専門科教育の充実。

教育長 学校の規模により音楽、図画工作、理科などに専科教員が配置されている。点について
問③ 小1プロブレム・不登校等への対応。
教育長 小1で学校不



少人数指導用の教室(五小)

指導の充実。
教育長 町の全小学校には算数科の教員が、瑞中には数学科、二中には数学科、二中には数学科には数学科

フィブリノゲンを使用した診療機関の公表と町の対応は

森 巨 議員（自民）

町長 厚生労働省が公表したとおり



肝炎ウイルス検診のポスター

質問 田辺三菱製薬の血液製剤フィブリノゲンは、全国に数万人もの薬害肝炎患者を生じさせた。この血液製剤は母子感染の可能性も指摘されている。また、手術の縫合用接着剤フィブリンが使用された方も薬害肝炎に感染した可能性がある。そこで、町長に伺う。
問① 近隣でフィブリノゲン、フィブリンを使用した医療機関と使用期間は。

町長 町が毎年実施している肝炎ウイルス検診にあわせ、広報などで周知していく。また、相談体制については、国や都の機関の窓口を紹介するなど、対応をしていく。

町長 医療機関は、厚生労働省の資料で公表されているとおりである。フィブリノゲンは、

こんな質問もありました
部制導入で窓口サービスの効率化は。
町長 サービス向上を目指す。